低身長の子どもの診察・検査の手順

病歴：家族歴（家族の身長や思春期のことなど）
　　新生児期（骨盤位、仮死、未熟児など）
　　知能発達（学業成績）　家庭環境　　成長の記録
診察：全身的診察で異常がないか
検査：血液検査（一般、甲状腺ホルモン、成長促進因子、性ホルモンなど）
　　尿検査
　　レントゲン検査（骨年齢）

↓

成長ホルモンの欠乏の疑いが

- 無し
  - → 他の病気の治療。成長ホルモンが使える病気
  - → 治療不必要
- 有り
  - ↓ 成長ホルモン刺激試験（1 回目）＊
    - ↓ 異常
      - ↓ 別の成長ホルモン刺激試験＊
        - ↓ 異常
          - ↓ 頭部 CT,MRI 異常あり→脳外科
          - なし
          - ↓ 「成長ホルモン分泌不全性低身長症」
            - ↓ ・小児特定慢性疾病の手続き
            - ・必要なら他の下垂体ホルモンの検査
            - ↓ 成長ホルモン治療
        - ↓ 正常 → 原発性小人症 体質性小人症（おくて）
    - ↓ 正常 → 原発性小人症 体質性小人症（おくて）
      - ↓ 経過観察

＊外来で２～３時間の検査